

**長野県社会福祉法人経営者協議会会長賞**  
**【井澤 詩萌】**岡学園トータルデザインアカデミー  
「ショートステイ時の荷物チェックの改善案」

審査員コメント

利用者の荷物チェックは介護職場共通の悩み。様々な方法の中から「紛失防止タグ」を提案されました。この「タグ」を大量購入するには、現状ではちょっとお高くなりますが、数年後を想像すると、この方法に説得力がありました。



エントリー No.17



ショートステイ時の  
荷物チェックの改善案

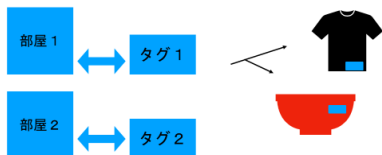
岡学園トータルデザインアカデミー 井澤 詩萌

紛失防止タグ



画像引用元：https://japanese.pinterest.com/2018/05/23/memoria-fuda-6-2/

- ・縦横平均3cmの小型のタグ
- ・接着型、キーホルダー型などさまざまな取り付け方法がある
- ・防水加工があるものもある
- ・GPS機能付き



- ・部屋ごとに（相部屋の場合はその中で複数）番号か何かを決めておきタグに割り振る
- ↓
- ・各私物に取り付ける
- ・タグ自体に色分けなどをしており、（黒は衣類、赤は食器etc...）退所時は各色のタグの枚数を確認して個数、枚数の確認可能

詳細は後述

\*従来のチェックシートはアプリで代用\*

	XO		XO	
	XO		XO	
	XO		XO	※イメージ

- ・タグを設置する際に数を記録、退所時は回収したタグの枚数と照らし合わせ確認



一致しなかった場合はGPS機能を使い施設内でおおまかな位置を特定する

この案の問題点



2000~3000円/タグ1個=入居者1人に対し約十数個~20個

1人あたり2万~4万 X 1施設平均入居者10名計算=20~40万

予想できる改善点

作業面

- ・事前に入居者側、入所時に施設側が記入しなければならない持ち物チェックシート 
  - ・アプリの代用により時間短縮
  - ・私物1点1点の詳細な状態等を記入する手間が省ける
- ・持ち込んだものの紛失、及びそれを探す手間 
  - ・GPS機能の利用により探す時間が大幅に短縮

心のケア

- ・大切なものもあるであろう、私物全てに名前を書くということ 
  - ・退居した後に私物に名前が残らない
  - ・名前を書くことに対する抵抗感が無くなる



初期投資が掛かる代わりに、タグは繰り返し何度も使えるため、今後手間だった作業が楽になる